

なかつがわ



令和元年 中津川市議会 12 月定例会

市の花 サラサドウダン



中津川市消防出初式（分列行進）

目次

市民と議会の対話集会	②
議案	⑥
予算決算委員会報告	⑨
常任委員会報告	⑪
特別委員会報告	⑫
一般質問	⑬
常任委員会先進都市行政視察報告	⑰
令和2年3月定例会日程／編集後記	⑳

トピックス

■市民との対話集会

市内 9 か所で開催し、多くの皆様に参加いただきました。
ありがとうございました。

■汚泥処理センター

アクアクリーン中津川が完成しました。12月22日(日)には、市民向けの内覧会が開催されました。

市民と議会の対話

市民の皆様と議員との質疑・応答（抜粋）

学校関係

質問：地元の保育園に入りたいが入れない。随分前から対策をお願いしているが、なかなか進まないこの状況をどう思うか。

回答：担当の委員会などでも調査をしており、問題については把握しています。保育士の確保が難しいことが大きな要因だと認識し、市と一緒に確保について取り組んでいきます。

質問：福岡の小学校統合後、利用しなくなった校舎などについて何か考えているか。

回答：福岡まちづくり協議会では、新ふくおか小学校（仮称）建設準備委員会と跡地利用委員会が現在市役所を交えて協議しています。地域の人口減少に歯止めをかけられるようなものになったらいいと考えています。

質問：放課後クラブ（学童）の支援員が不足している。地域としてどのようにして取り組んでいったらいいか。

回答：支援員不足は福岡の地域だけではなく、中津川市全体の問題です。議会としても全市的に対応すべきと考えています。

ごみ問題について

質問：ごみの量が県内ワースト2と報告された。他自治体と比較して何がが多いのか。意識改革をどうするのか。

回答：プラスチックごみや雑誌、布が多く見受けられます。そのためには、資源化に対する市民の意識改革が必要と考えます。

リニア中央新幹線について

質問：2027年開業予定と聞いているが、本当に大丈夫か。

回答：JR 東海からの回答では予定通りということです。用地買収も順調に進んでいると聞いています。問題を抱える地域もある様ですが、順調に進められている様子です。

質問：東濃地域に首都機能を移転することや最高裁判所を誘致する話が頓挫したと新聞にも掲載されていたが、他の国の機関を誘致するという事で活性化したらどうか。

回答：リニア中央新幹線開業に合わせて国の機関を中津川に誘致するという話は現在では聞いていません。
国家機関を中津川へという話も将来的には出てくるかもしれませんが、現在のところでは無い状況です。

中津川の天気予報について

質問：中津川市の天気予報は、地域の実際の天候と一致していない。地域ごとに細かく分かる様にしてもらいたいが、取り組みをしているか。

回答：細分化してほしいという要望書を岐阜県とともに気象庁や岐阜気象台などに提出しているが、まだ回答が得られていない状況です。

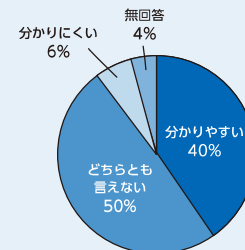
集会を開催しました

今年も多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。
多くのご質問、ご意見・ご要望を議会として真摯に受け止め、今後の活動に活かしてまいります。

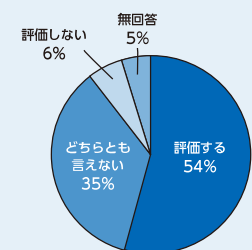


開催日	会場	参加者数			アンケート回収枚数
		男	女	計	
11月1日(金)	阿木公民館	16	1	17	17
	苗木公民館	40	3	43	42
	付知公民館	19	0	19	16
11月5日(火)	健康福祉会館	45	2	47	43
	坂本公民館	24	4	28	25
	かわうえ自然休養村管理センター	27	6	33	33
11月6日(水)	蛭川公民館	32	1	33	33
	福岡公民館	23	1	24	22
	神坂公民館	29	2	31	29
合計		255	20	275	260

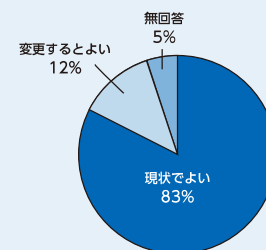
■ 対話集会の内容について



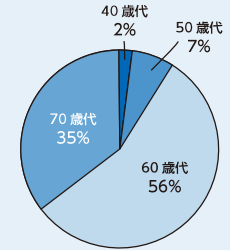
■ 対話集会の取組みについて



■ 開催時期、曜日、時間について



■ 参加者の年齢



市民と議会の対話集会アンケート意見・要望（抜粋）

阿木会場

- ・報告はレジュメなどを読み上げることが多いように思えます。内容などは全て頭に入れた形での報告をお願いします。
- ・市政懇談会より分かりやすく親近感がある。

中津川会場

- ・要望について市に話をしておくという回答ではなく、議員としてこう考えているので行政と協議していくという回答にしてほしい。

蛭川会場

- ・視察先の良い点を中津川市で活用出来る様に行政と細かく話し合う機会を作っていたでき、委員会で活動出来る事を望みます。

苗木会場

- ・全体で行うと意見が出しにくい。もう少し細かくいくつかのグループに分けることも必要ではないか。
- ・市民の切実な思いが出され議会を共有する糸口となる部分があったと思います。このような機会是对象者、回数ともに工夫して多くの声にふれていただけることを願います。

坂本会場

- ・視察項目説明を取り入れた事は、たいへん有効であり活動を理解するよい資料である。結果から中津川市に対してどう活かせるかについては、もう少し具体的に検討していただきたい。
- ・中津川市と恵那には病院は1つでいい。統合に向けた話したいを始めた方がいい。

付知会場

- ・年に2回程開催していただくと、もう少し意見も出るのではないのでしょうか。
- ・もう少し参加人員を増やす努力をして欲しい。せっかく良い企画なのに少人数ではもったいないと思います。

かわうえ会場

- ・一つの問題に限らず、多くの課題を取り上げるような対話集会にしてほしい。
- ・特定の主義主張の発言の場とならないような工夫が必要。
- ・参加者の多様化（年代、職業）が、対話集会の活性化につながると思います。

神坂会場

- ・新斎場の話が聞けてよかった。
- ・女性の参加者が私一人でした。これは一つの問題だと思うし、若い人がいません。

対話集会にご参加いただきありがとうございました。

アンケートにご記入いただいた意見につきましては今後の議会活動において検討していきます。

※市民と議会の対話集会でのご意見などの詳細については、中津川市議会公式ホームページをご覧ください。

市民と議会の対話集会を開催しました

市民の皆様と議員との質疑・応答（抜粋）

議員間の交流について

質問：隣接する他市などとまちづくりについて、議員間で協議をする交流を行っているか。

回答：恵那市議会とは10月に交流会を行いました。過去からも交流を行っており、恵那市議会と中津川市議会は友好的だと考えています。飯田市や南木曽町とも一年に一回は交流を行っている。また、濃飛横断道に関連しては中津川・下呂・郡上・東白川で委員会の交流を行なっています。

新斎場について

質問：新斎場について建設の見込みは立ったと聞くと、進捗状況を知りたい。

回答：苗木地区で了解を得ている。9月議会で測量・基本計画の補正予算が提案され可決しました。予定地の5ヘクタール位を測量し、今後、場所を決定する予定です。中津川市新斎場建設基本計画が今年度中に策定されます。

公共交通について

質問：高齢者が多くなって免許返納も増加すると思われる。足の便を良くしてほしい。

回答：公共交通については、現在も地域公共交通網形成計画を策定しており、利用促進の計画を立案中です。運転免許を返納された70歳以上の高齢者については、タクシー利用の10%の割引などがあります。

空き家対策について

質問：中津川市では、空き家調査のためのアンケートを行っているのか。また、行う予定があるのか。

回答：視察先の自治体では、空き家を持っている方にアンケート調査を行い、結果に基づいて対策を進めています。中津川市ではアンケート調査の計画はないと聞いていますが、参考にするように提案したいと思っています。



市民と議会の対話集会の様子

12月定例会は、本会議初日に専決処分した補正予算を承認、一般会計補正予算（第8号）など31議案を所管の委員会に付託しました。最終日は、付託した31議案および追加提案された補正予算（第10号）を原案通り可決しました。

専決処分の承認

10月12日から13日まで、及び、10月25日の大雨の影響により被災した市道を早急に復旧するための経費6千2百70万円を計上し、議会の議決を得る時間的余裕がなく専決処分したものです。

中津川市監査委員条例及び中津川市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

平成29年6月9日に、地方自治法等の一部を改正する法律が公布され、条例が引用する部分に条ずれが生じるため改正するものです。

中津川市会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の制定

地方公務員の臨時・非常勤職員が増加している中、その適正な任用・勤務条件の確保が求められており、地方公務員法及び地方自治法の改正

が行われ、会計年度任用職員をフルタイムとパートタイムに分け、それぞれの給料、報酬、手当、費用弁償等について定めるため制定するものです。

中津川市固定資産評価審査委員会条例の一部改正

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い条例が引用する部分に条ずれが生ずるため改正するものです。

中津川市分担金等徴収条例の一部改正

強風、大雪等による停電及びこれに起因する被害は、市民生活に深刻な影響を与えるため、電線周辺の立木を適切に管理する必要があります。岐阜県は、市が行う電線周辺の立木を伐採する事業であって、その経費の一部を受益者から徴収するものに対して、ライフライン保全対策事業費補助金を交付することとした

ため、受益者から分担金を徴収するために改正するものです。

中津川市公民館の設置等に関する条例等の一部改正

新たに阿木交流センターを整備することに伴い、阿木公民館、阿木事務所及び国民健康保険阿木診療所の位置を「阿木27番地の1」に改め、また、阿木公民館の使用料を表のとおり改めるため改正するものです。

名称	面積 (㎡)	使用料	
		午前	午後 夜間
小会議室	29.81	160円	220円
中会議室	39.75	330円	440円
大会議室(全)	156.51	660円	880円
大会議室(大)	89.43	490円	660円
大会議室(小)	67.08	330円	440円
和室	19.87	160円	220円
料理実習室	39.75	490円	660円

中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例及び中津川市文化スポーツ施設等使用料等徴収条例の一部改正

中津川市舞台台畔テニスコートは、老朽化によるコートの破損が著しく、使用できない状況にあり廃止するため改正するものです。

中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正

約1万2千5百民間事業所の約55万人の個人別給与を实地調査した結果、民間給与・ボーナスが国家公務員給与・ボーナスを上回ったことにより、令和元年度における民間給与との較差等に基づく給与改定を行うため改正するものです。

- 中津川市職員の給与に関する条例の一部改正

◎主な改正内容

- 給与表の改正
30歳代半ばまでの職員が在籍する号給についての改定。
(2) 住居手当の改正
支給対象となる家賃額の下限を1万6千円とする。
- 職員のボーナス支給月数の改正
年間4、4、5月→4、5、0月
- 扶養手当の改正
子ども以外の扶養手当の額を、減額改定に伴う経過措置の終了により0とする。

- 中津川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

◎主な改正内容

- 高度な専門知識を有する者の給与表の改正
(2) 特定任期付職員のボーナス支給月数の改正
年間4、4、5月→4、5、0月

- 中津川市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正

◎主な改正内容

- 議員のボーナスの支給月数の改正
年間4、4、5月→4、5、0月

中津川市下水道事業等に地方公営企業法の全部を適用するための関係条例の整理

国が進めている「経済・財政一体改革の取組の中で、地方財政の厳しい状況を踏まえ、地方公営企業法の適用拡大が要請されました。中津川市においても、特別会計である下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業及び個別排水処理事業に、同法を適用することにより効率的な経営体制の確立を図るため関係条例を改正するものです。

指定管理者の指定

施設の管理を指定管理者に行わせるため指定するものです。

施設名	指定先	指定期間
加子母B&G海洋センター	特定非営利活動法人 わくわくプラザ	令和2年4月1日～令和7年3月31日
中津川市福岡公民館 常盤座	ふくおかまちづくり協議会	令和2年4月1日～令和5年3月31日
明治座	特定非営利活動法人 かしもむら	令和2年4月1日～令和5年3月31日
中津川市障がい者就労支援事業所 さかした 中津川市障がい者就労支援事業所 かしも 中津川市障がい者就労支援事業所 ふくおか	社会福祉法人 中津川市社会福祉協議会	令和2年4月1日～令和7年3月31日



加子母B&G



常盤座



福岡公民館



明治座

障がい者就労支援事業所の自主製品



かご(加子母)



プランター(加子母)



ポプリ入りくまた(福岡)



牛乳パック椅子(福岡)

予算決算委員会報告（補正予算）

令和元年度 12月補正予算の概要

（12月17日・12月23日）

下記の4つの編成方針により、予算が計上されました。

- ① 国・県補助金等を活用する事業
- ② 寄附金を財源とする事業
- ③ 緊急対応が必要な事業
- ④（追加）当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正

■補正を行う会計

一般会計・・・・・・・・・・△32,334 千円
特別会計

・国民健康保険事業会計（事業勘定）・・・・・・・・△1,809 千円
（直営診療施設勘定）・・・・・・・・1,216 千円
・下水道事業会計・・・・・・・・4,574 千円
・農業集落排水事業会計・・・・・・・・1,940 千円
・特定環境保全公共下水道事業会計・・・・・・・・146 千円
・介護保険事業会計・・・・・・・・6,927 千円

企業会計

・病院事業会計・・・・・・・・87,284 千円
・水道事業会計・・・・・・・・△3,451 千円
合 計 64,493 千円

① 国・県補助金等を活用する事業

6,645 千円

■農地・担い手対策事業……………5,110千円

台風19号の強風により被害を受けた農業用施設の再建・修繕を行う農業者に対し、国事業を活用し必要な費用を助成します。

■国民健康保険事業会計

総務管理事業……………1,535千円

マイナンバーカードの利活用拡大を目的に、医療保険のオンライン資格確認等システムがR3年3月に稼働すること等に伴い、自庁システムを改修します。



台風19号の被害

② 寄附金を財源とする事業

115 千円

■教育基金管理事業

寄附者の意向で、坂下小学校の教育の充実のために活用します。



財産の処分

旧中津川高等技能専門学校（木匠塾）跡地への企業立地の申し入れがあり、総合計画中期事業実施計画に掲げられている若い方の働く場の創出に向けた新たな分野・業種の新規企業で先進的な研究施設の企業を誘致するために財産を売却しようとしています。

所在地	地目	面積
中津川市千旦林字坂本 1417 番 26	宅地	5,443.48 m ²
中津川市千旦林字坂本 1417 番 27	宅地	17,315.77 m ²
中津川市千旦林字坂本 1417 番 28	宅地	995.81 m ²
	合計	23,755.06 m ²

財産の種類 土地
契約金額 129,665,660 円
契約の相手方 名古屋市東区東桜一丁目1番10号
大同特殊鋼株式会社
代表取締役社長 石黒 武

市道路線の変更

落合42号線

・県営中山間地域総合整備事業で整備された道路のうち、県から譲与された部分を落合42号線への接続道路として起点を変更し、一貫した道路管理をするものです。

苗木11号線

・広域管農団地農道整備事業で整備された道路のうち、県から譲与された部分を苗木11号線への接続道路として起点及び終点を変更し、一貫した道路管理をするものです。

坂下90号線

・路線の一部が一般交通の用に供されなくなったため、終点を変更し、一貫した道路管理をするものです。

新市建設計画の変更

計画期間の終期を令和6年度まで延長し、法改正等に伴う表記の変更、財政計画の実績と推計を反映するなど所要の変更をします。

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派 氏名	中津川自民クラブ											共産	市民ク	公明	無	新	ネ	議決結果			
		鷹見 憲三	大堀 泰延	勝 彰	岡崎 隆彦	吉村 浩平	柘植 貴敏	島崎 保人	水野 賢一	森 益基	吉村 孝志	長谷川 透	宮嶋 寿明	鷹見 信義	木下 律子	柳松 直子	牛田 敬一	田口 文数		糸魚川伸一	粥川 茂和	三浦 八郎
中津川市職員の給与に 関する条例等の一部改 正について	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和元年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
令和元年度中津川市一般会計補正予算（第9号）	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決

※共産：日本共産党、市民ク：市民クラブ、公明：市議会公明党、無：無会派、新：新政会、ネ：市民ネット

常任委員会報告

◆総務企画委員会

【所管事務調査】（総務部）

10月18日

○指定管理者制度の運用状況について

指定管理者制度の運営状況と課題及び今後の取り組み方針について調査しました。

現状

指定管理者制度は、施設利用者のサービス向上と管理経費の削減を目指すもので、平成17年度から導入しています。
また、指定管理者の評価方法は、平成29年度から制度の効果が充分発揮されているかを評価する方法に見直しを行なっています。

課題と今後の対応

公募・非公募の判断基準が明確でないため、平成29年度に見直した評価方法を用いて、指定管理者制度導入の可否及び公募・非公募の判断基準を明確にしています。

委員会のまとめ

制度を導入する施設の基準及び公募・非公募の判断基準について、また、目的を同じくする施設ことの指定管理料のあり方等について、明確にいくことが必要と考えます。

◆文教民生委員会

【所管事務調査】（市民福祉部）

10月24日

○介護保険事業の取り組み状況について

本市における介護保険の事業計画等の現状課題と取り組みについて調査しました。

現状・課題

本市の高齢化率は32.1%で国・県よりも少し高くなっています。人口は確実に減少しながらも高齢世帯や独居の数は増加傾向にあります。
市はこれから、地域支援事業と国保の保険事業を一体的に取り組まなければならないことや、第7期計画のなかで認知症予防対策・認知症高齢者施策の充実などの課題があります。

今後の対応

令和元年度にニーズ調査を行い分析考察して、第7期計画の課題をふまえ、第8期計画を策定します。
現在、介護認定調査員による在宅介護実態調査を行っており、11月からは郵送によるニーズ調査を行う予定です。

委員会のまとめ

人口減少の中、超高齢化時代を迎えようとしています。介護保険事業の取り組みは重要であり大変だと考えますが、高齢者の方々も安心していつまでも元氣な暮らしができるようご尽力をお願いします。

◆産業建設委員会

【所管事務調査】（商工観光部）

11月18日

○観光客への対応の現状と課題について

前回の所管事務調査より2年が経過した現状と新たな課題について調査しました。

現状・課題

観光入込客数…5百万人に対し、9月現在で3百万29万人と下回っています。
課題…①市内の観光協会による統一的な活動
②地域資源の活用
③外国人観光客へのおもてなし

今後の対応

①観光連絡協議会の定期的な開催
②魅力のある体験・滞在型観光の推進
③外国人観光客の受入環境整備

委員会のまとめ

観光施策は、多岐に渡る事業が多いため、優先順位を付け遂行して頂きたい。
観光施策の経済効果が分かる仕組みを早急に構築して頂きたい。

③ 緊急対応が必要な事業

133,660 千円

■総合防災対策事業……1,042千円

中津川市防災備蓄倉庫の非常用発電機の修繕

■地域交通推進事業……4,596千円

明智鉄道株式会社の補助金の増額に対し、恵那市との持ち株比率(14.39%)に応じた額

■観光施設管理事業……3,033千円

きりら坂下の厨房機器と落合の観光案内看板の修繕

■公民館を拠点とした地域づくり事業

…1,000千円

阿木交流センターの備品購入

■苗木城跡整備事業…15,257千円

駐車場の整備

■消防団員活動事業…283千円

永年、地域防災の重責を担った消防団員に対する退職報償金

■中学校施設管繕事業…2,889千円

坂本中学校トイレの改修

■総合政策事務事業…1,001千円

R2年11月開催のFIA世界ラリー選手権の呼び込み周知、PR活動

■河川改修事業…7,000千円

手賀野地内の小向井川の護岸改修工事の測量調査設計

■道路新設改良事業…5,000千円

宮前橋架替工事の工法変更費用の市負担分

■下水道管理事業[下水道事業会計]…5477千円

■農業集落排水経営管理事業

[農業集落排水事業会計]…1,756千円

■特環下水道経営管理事業[特定検診環境保全公共下水道事業会計]…13,326千円

上記3事業についてH30年度分確定申告に伴い12月、3月に中間納付する消費税及び地方消費税の不足分

■病院事業[病院事業会計]…72,000千円

公立病院の機能集約化及び医療機器の更新による、これまでに取入れていなかった治療法等により、高度医療の件数が増加し、当初の見込みよりも診療材料の購入が増加傾向にあるため、増額補正

④当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正

△75,927 千円

■職員給与費（全会計分）△65,992千円

人事院勧告等による補正
職員の異動等に伴う補正
共済負担金率の変更に伴う共済費の補正

■議会運営事業……………479千円

議員期末手当

■人件費の補正に伴う他会計繰出金

……△10,414千円

歳入の補正

133,669 千円

■財産収入…133,669千円

企業誘致のため、岐阜県から取得した旧中津川高等技能専門校用地及び建物を売却

繰越明許費の補正

■道路新設改良事業…15,000千円

餅穴～正ヶ根線工事に設計変更が生じた遅れ

■青木斧戸線道路整備事業…78,300千円

用地取得の遅れ

■神坂PAスマートインターチェンジ設置事業

…211,000千円

用地取得事務手続きの遅れ

■リニア中央新幹線関連道路整備事業

…354,800千円

[東濃東部都市間連絡道路]坂本264号線[坂本58号線ほか]用地交渉等による工事の遅れ

債務負担行為の補正（追加）

■木曾川水系宮前橋架替工事負担金

…限度額36,000千円

国直轄工事に伴い、国土交通省と協定を締結している宮前橋架替工事において、仮設工事の工法変更により事業費が増額されたため、債務負担行為を追加で設定

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は10人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

会議録はこちら



答



工場立地法の条件を緩和することにより、同一敷地内への増設も可能となることから、3月議会への条例案の上げを考えています。
なお、緩和により周辺環境への大きな影響が無いよう、パブリックコメントを実施して市民の皆様の意見を伺い、他の市町の事例も研究しながら、規定内容を検討してまいります。
(商工観光部長)

問

既存企業への支援について

牛田 敬一

安定的な企業活動と雇用の維持拡大を進めるなかで設備投資があります。工場立地法により、設備投資を計画するうえで緑地面積及び環境施設面積割合の基準が高く、増設するために基準を下げてほしいという要望を聞いております。
中津川市においても緑地及び環境施設面積割合の緩和を行ってはどうですか。

答



①実施に向けて、昨年度は市として3回、本年度は2回の研修を実施しました。また、学校単位でも専門の講師を招いて研修を行ったり、試行的に授業を行ったりしています。
②導入に当たって、支援員を配置することは考えておりません。その代わりとして、より多くの授業で有効活用がなされるよう、デジタル教科書を導入する5教科全について講師を招いて、教員を対象とした研修を行う予定です。(教育委員会事務局長)

問

ICT教育について

田口 文数

タブレットや電子黒板等ICT技術を授業等に活用した教育のことをICT教育といいます。ICTは現場のツールであり、授業の理解度を上げ、興味や意欲を引き上げます。
①2020年4月から、プログラミング教育が始まります。文部科学省は動画等を準備していますが、来年度に向けて準備はできていますか。
②デジタル教科書を導入していく中で、ICT支援員の配置を考えていますか。

特別委員会報告

リニア中央新幹線対策特別委員会

10月21日

概要

○三市一村(中津川市、下呂市、郡上市、東川村)議会委員会合同会議について
10月21日に開催される同会議の進行手順内容等について確認を行いました。
○南木曾町・中津川市議会リニア特別委員会合同会議について
令和2年1月21日に、南木曾町が幹事で開催されます。

○行政視察について

令和2年1月29日～30日に、リニア中央新幹線のトンネル工事現場や幹線道路のバイパス立体工事現場などの視察を行う予定です。
委員会のまとめ
今後は周辺市町村とも連携を取りながら、リニア関連事業については、注視してまいります。また、行政視察(先進地事例)についても、積極的に取り組んでまいります。

議会改革特別委員会

10月29日

◎議会改革特別委員会における合意事項について(報告)

一般質問でパネル等を使用する際、これまで大きさは0.5m以下、2～3枚までという取り決めをしていましたが、その見直しについての検討を行い、パネルの枚数については制限をしないことを決定しました。
今回の決定により、令和元年12月定例会から、パネル等の枚数の制限はなくなりました。

なお、議会は「言論の府」であることから、パネルなどの図表を用いることは例外とされています。このため、パネル等を用いる場合には議長の許可が必要となります。

0.5 mとは…?
ほぼ新聞紙
見開きのサイズ



今年も生徒会サミットが開催されました

8月20日



生徒会サミットの様子

今年で3回目となる中津川市生徒会サミットが議場を使用して行われました。今回は、72名が参加し、4つのテーマで8グループに分かれ意見発表を行い、その後各常任委員会の委員長、議長が感想を述べる形で、中学生のしっかりとった考え方には、議会でも感心することが多く見受けられました。
将来、中津川市を担う生徒さんたちに敬意を表し期待しております。

リニア関連事業における大型事業調整方 イドラインについて

大堀 寿延

リニア中央新幹線開業に向けて、工事も本格的な段階を迎えています。市内において数多くの工事が幅転することによる渋滞、騒音、振動など市民生活への影響が懸念されます。

①工事が順次、動き出すと混乱が予想されます。市の発展のためには事業を円滑に推進することが大切です。市がイニシアチブを取って工事の調整を図る必要はないですか。

②工事調整会議の組織はどの様に考えていますか。

①今後、坂本地区ではＪＲ東海、中部電力、岐阜県や市が行う工事の幅転が想定されるため、地域住民の生活環境への影響を極力少なくすることを目的に工事調整会議を設置し、市が中心となって各事業者との調整を図っていきたく考えています。

②工事調整会議は事業者であるＪＲ東海、中部電力、岐阜県、市と工事受注者をメンバーとして考えています。

(リニア都市政策部長)



幼児教育・介護・介護保険について

鷹見 信義

①幼児教育では、非認知能力を幼児期に伸ばすことが大事だと分かって来ましたが、市で初めて公立「認定子ども園」が始まります。地域の協働による祖父母・保護者・民生委員・社会教育委員の方々で仮称「子ども園」運営委員会が必要だと思います。設立の意思・方向を伺います。

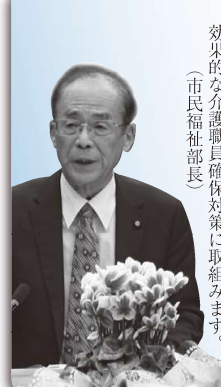
②介護の現場では介護職員が不足し、介護施設がなかなか満床で稼働できない状況があります。介護職員確保・介護職員初任者研修の独自の施策を伺います。

①現時点では「子ども園運営委員会」を設立する考えはありません。ご協力の必要性は十分認識しており今後も保護者会、老人会及び地域事務所等と協力し、地域との連携を大切にしたいと考えています。

(教育委員会事務局長)

②中高年者、子育てがひと段落した主婦層、小・中学生に介護職の理解を深める取組みや働きかけを行い、介護職員資格取得支援等、効果的な介護職員確保対策に取組みます。

(市民福祉部長)



地域農業振興における行政の役割について

粥川 茂和

令和元年度の農地集積面積は約818haで、この5年間で253haの増加にとどまっています。

当市の集積率目標は令和4年度末に60%であり、1,587ha不足しています。

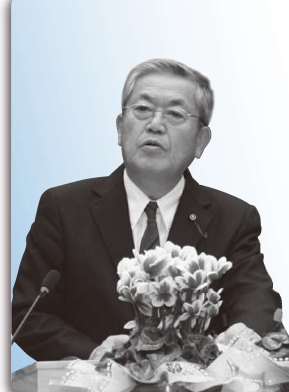
市はこのような状況をどのように受け止めていますか。

目標達成は、非常に厳しい状況であると認識しております。

農地集積は、農作業の効率化と省力化のため、農事組合法人の経営基盤を形成していますが、同時に作業負担が増加する場合もあり、中山間地域では、経営規模拡大を困難とする要因にもなっています。

今後、法人設立や新規就農者への支援を通じ、担い手育成を推進し、農地集積を進めていきます。

(農林部長)



高齢者の交通安全対策について

糸魚川 伸一

近年、高齢者による大きな事故が問題となっております。中でもアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多く発生しております。その様な中、高齢の方にとって生活の足として車の運転を余儀なくされてしまう現状を考えると、事故防止に向けた対策のあり方そのものを検討しなくてはならないと思います。後付けの踏み間違い防止装置設置について補助はできないものかご見解をお聞かせ頂けますでしょうか。

踏み間違い防止機能を含む自動ブレーキ装置等につきましては、国が高齢者を対象にして新車購入時に補助を行うことを検討しており、さらに2021年から新型乗用車に装着を義務化する方向で調整しているという報道があります。

後付けの踏み間違い防止装置についても補助を行う方向で調整しているという報道がありますので、市としては国の動向を注視してまいります。

(総務部長)



小型無人機ドローンの配備について

森 益基

ドローンの配備に向けて中津川市もエントリをしようとしていくと力強い決意を伺いました。総務省や消防庁は、地域の安全・安心を創造していくため防災や減災に関する様々な事業メニューを揃えていると聞いています。当市の消防本部が特に注目している事業は何ですか。また、エントリしたい事業等へアクションを起こしていますか。

これまでも、総務省消防庁の緊急消防援助隊設備整備補助金等及び無償貸与資機材の活用を推進してきましたが、新たに平成30年度岐阜県に対して緊急消防援助隊車両の無償配備が打診され、令和元年度岐阜県消防長会において協議した結果、土砂災害に対応する重機及び重機運搬車両が当消防本部へ令和2年度中に配備されることとなりました。

これを受け、重機の取扱い資格の取得等を計画的に進めているところでございます。

(消防長)



滞納は市民からの「SOS」について

木下 律子

市税・国民健康保険料・給食費などの市が徴収する税金などを滞納した時に、最終的に「差し押さへ」があります。しかし滞納は市民からの「SOS」としてとらえ、市民の生活を改善しながら納税を促進している自治体もあります。ぜひ、中津川市も市民に寄り添った納税事務を行うために「くらし支えあい条例」をつくってはいかがですか。

中津川市では、平成27年度から法に基づき、生活困窮者自立支援事業を実施しております。中津川市相談センター「ういず」を開設し生活仕事、病気、家計、家族問題など多岐にわたる相談に対応する体制を整備しておりますので、現在のところ条例を制定することは考えておりません。

今後とも市民生活のセーフティネットとして関係機関と連携を密にして支援の充実を図っていききたいと考えております。(市民福祉部長)



中津川市の人づくりに関わる子どものスポーツ施策について

三浦 八郎

【問】 中学校教員の一日の平均在校時間は12時間を超えているとの調査もあり、教員の働き方改革の議論が活発になってきています。この主な要因としては部活動の指導によるものといわれています。外部指導者や地域スポーツクラブの活用など指導教員の負担を軽減するための「部活動のあり方」について、教育委員会としての今後の方針を伺います。

【答】 中学校教員の超過勤務時間には、放課後や土日の部活動時間が含まれ、市内の教員の勤務時間が多くなる一因となっております。この現状を踏まえながら、適正な部活動のあり方を「部活動方針」に明記し、学校での働き方改革を進めています。また、保護者にも理解していただくことが大切ですので、保護者に向けて「部活動方針」を説明し、理解していただくよう進めているところです。(教育長)



健康なかつがわ21からがん検診と歯・口腔の健康について

黒田 ところ

【問】 医療費削減や介護予防の面から、健康に関心を持ち健康であるうとすることは大切です。①前立腺がんの検査は、採血によるPSA値の検査です。この検査を子宮がんや乳がん検診同様、医療機関で簡単に受診できるようにできませんか。

②口腔衛生、歯周病予防は全身の生活習慣病の予防、特に高齢者の介護予防の面で重要だと思います。特に高齢者の介護予防の面で重要だと思いますが、その際の問題点は何ですか。

【答】 ①前立腺がん検診は、国が推奨するがん検診に含まれておらず、他のがん検診のように拡充する方向でないため、現在のところ医療機関での実施は考えておりません。②成人節目歯科健診や高齢者向け健口教室を実施していますが、受診率・参加率ともに低い状況にあります。歯周病が増加していることから、歯と口腔の健康と全身の健康の結びつきの啓発が十分でないことが、問題・課題であると考えています。(市民福祉部長)



市議会の様子を映像配信しています。

中津川市議会の本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継と録画映像をご覧いただけます。

●ライブ中継

本会議と常任委員会・特別委員会のライブ中継を視聴できます。

●録画映像

録画映像を、会議名・会議日・議員名・フリーワードの条件で検索して視聴できます。

パソコンの他、スマートフォン、タブレットでの視聴も可能です。

詳しくは、中津川市のホームページ「中津川市議会 映像配信」をご覧ください。



総務企画委員会先進都市行政視察報告

◆広島県福山市

「空き家対策と空き家活用について」

10月23日

【目的】

特に危険空き家の対策について、より効果的な取組みの参考とするため視察しました。

【概要】

危険空き家対策については、行政書士の雇用並びに司法書士会との協定により危険度の高い空き家を抽出し、集中的な取組みと対策を行っていました。

また、危険空き家除去までの間、倒壊の危険を回避する緊急安全措置を行うため、平成27年に空家等対策条例を制定していました。

【委員会のまとめ】

特定空き家の認定及び行政指導、除去に向け、専門的知識を有する司法書士等との連携を図ること、特別措置法を補完する条例等を制定することで、より効果的な取組みの必要性を感じました。

◆広島県東広島市

「指定管理者制度導入について」

10月24日

【目的】

制度導入後14年が経過し、今後の制度のあり方について参考とするため視察しました。

【概要】

指定管理者制度を導入した目的は、当市と同様、市民・利用者へのサービスの向上と維持管理経費の削減であります。

指定管理者の評価については、令和元年度より市が実施した評価を、専門知識を有する大学教授や弁護士、税理士で組織する外部評価委員会の検証・評価により客観性、透明性を担保していました。

【委員会のまとめ】

施設を公募・非公募とする判断基準の更なる明確化と、外部評価を取り入れることによる指定管理料及び市民サービスの継続・安定的な提供のあり方について、より客観的な評価をする必要があると感じました。

◆広島県三原市

「公共施設等総合管理計画について」

10月25日

【目的】

市有財産運用管理マスタープランの成果が目標を下回っている状況を踏まえ、先進都市の取組みを参考とするため視察しました。

【概要】

公共施設等総合管理計画を策定し、①施設総量の削減、②施設の老朽化対応、③更新・維持管理費用の削減を基本方針に、施設の集約化、廃止、民間移譲などに取り組んでいます。

また、財政の効率化の観点だけではなく、施設の集約等の必要性を丁寧に説明し、市民の理解を得る取組みをしていました。

【委員会のまとめ】

健全財政の維持に欠かせない事業ですが、地域密着の施設は、将来の街づくりの議論とともに丁寧な説明を行い、地域の理解を得つつ事業を推進していく必要があります。

文教民生委員会先進都市行政視察報告

◆長野県大町市 「小中一貫教育（美麻中学校）の取組 みに（ついで）」

10月15日

【目的】

少子化が著しく進む中、当市において教育の環境を見直すことが大切だと考え、学校の適正化を含め、当市の一貫教育の糸口としたため視察しました。

【概要】

平成26年に小中一貫校となり、27年度に、小規模特認校制度^(※1)を開始し、29年度から義務教育学校となりました。9年制を採用しホップ期、ステップ期、ジャンプ期で段階的に教育を行っており、5年生から教科担任制を取り入れ、地域が参加する学校運営協議会が毎年、学校運営評価を行い、常に改善に努めています。

^(※1)小規模特認校とは、小中併設で100人以下の学校に採用される制度

【委員会のまとめ】

山村留学制度^(※2)、小規模特認校の利用などを取り入れ地域全体で子どもを育てている様子がうかがえ、少子化が進んでいる当市においても参考になる取組みであり、今後、検討していく必要があります。

^(※2)山村留学制度とは、山村留学センターと地元農家で2週間ずつ1年間生活する制度

◆埼玉県川越市 「新斎場建設事業について」

10月16日

【目的】

斎場建設は、長年にわたり重要な課題として検討され、ようやく現地測量という運びとなりましたが、一刻も早い事業展開となるよう視察しました。

【概要】

平成21年度、新斎場建設準備室を設置し、22年度、基本構想案や建設予定地の検討を行い、地権者や地元説明会を行い、23年度に地権者の合意のもと建設予定地や基本構想を決定し、火葬台数の精査、施設基本計画、外構整備計画などの他、周辺環境整備計画など地域周辺住民への配慮が行われていました。葬儀場が併設されていますが、建設より20年経過しており、設備の計画的な修繕が必要とのことでした。

【委員会のまとめ】

市民のみなさんが一番利用しやすいことを考慮し、市内の中心地に建設することとなり、反対意見もありましたが、行政が最後まで責任を持つことを条件に理解していただき、直営で運営しており、キッズコーナーやプレイバシーへの配慮もあり、当市の参考にするべきと考えます。

◆神奈川県南足柄市 「放課後児童クラブ（学童保育）について」

10月17日

【目的】

施設不足、料金等の課題が沢山あるなか、学童保育の要求は、増加傾向にあります。当市の方針等の参考にするため視察しました。

【概要】

昭和53年から個人宅で保護者主体の学童が開設されました。平成27年度保護者からの強い要望により30年公設化に向け調整を開始し、31年より公設民営をスタートしました。

課題としては、長期休暇時における支援員の確保、委託料等の財源確保、障がい者の受け入れなどありますが、統一した運営や待機児童がいらないなどの効果もあります。

【委員会のまとめ】

保護者からの強い要望により公設となり、運営はいくつかの社会福祉法人のなかから1社にお願いし、教育委員会などと連携をはかり統一した放課後児童クラブの運営がなされており、公設民営の模範的な運営であり参考にするべきと考えます。

産業建設委員会先進都市行政視察報告

◆埼玉県ふじみ野市 「ごみ減量及び分別学習について」

10月8日

【目的】

ごみ処理費の削減と最終処分場の延命化につながるごみ減量対策を調査しました。

【概要】

- ・1人1日当たりのごみ排出量・604g（中津川市・734g）
- ・容器包装プラスチック回収を週1回実施
- ・環境センターは公設民営で運営されており、契約時に環境学習講座等を実施することが決まっており、小中学生を対象に社会見学や講座を年間36回開催しています。
- ・焼却方式こそ違いますが、極力燃やさない方向を目指しています。

【委員会のまとめ】

ごみ減量に向けて分別を徹底しています。環境問題意識してもらうために、ドッグラン・レストラン等を設け、施設に集まれる工夫をしています。

◆東京都昭島市 「資源循環型まちづくりについて」

10月9日

【目的】

ごみ処理費の削減と最終処分場の延命化につながるごみ減量対策を調査しました。

【概要】

- ・1人1日当たりのごみ排出量・573g
- ・指定ごみ袋としてプラスチック用収集袋を使用してプラスチック回収を実施。
- ・リサイクル通信を発行し、ごみは資源になることを分かりやすく周知しています。
- ・資源回収奨励金制度を制定し、自治会PTA／保護者会等の単位で集団回収を実施。
- ・学校への出前講座を展開し、大人より子どもをターゲットにしています。

【委員会のまとめ】

ごみ減量の大切さを自治会に出向き広報するなど、地道な活動がごみ減量につながると認識しました。

◆山梨県甲府市 「ごみ減量対策について」

10月10日

【目的】

ごみ処理費の削減と最終処分場の延命化につながるごみ減量対策を調査しました。

【概要】

- ・容器包装プラスチックマークがついている廃棄物及び紙類（コーティングがない紙・汚れや臭いがない紙）をリサイクル。
- ・ごみ分別アプリを導入し啓発活動を推進。
- ・台所水切り運動にて約10％の削減を実践。
- ・毎週土曜日をプラスチック回収日に設定。
- ・資源ステーション（市内3箇所）は、24時間対応。
- ・学校給食残飯の堆肥化を推進。

【委員会のまとめ】

ごみ減量に向けて分別を徹底しています。地道な周知活動が重要で燃やさない取組みを推進することがごみ処理費用の削減と最終処分場の延命につながることを認識しました。

他市からの行政視察受け入れ

当市への行政視察についてお知らせします
(10月・11月分/敬称略)

- 10月 8日 高知県四万十市議会・建設委員会
(東濃檜の産地化及び森林管理システム)
- 10月 24日 兵庫県三木市議会・議会運営委員会
(議会におけるタブレット端末導入)
- 10月 25日 岐阜県議会議員 (苗木城跡)
- 10月 30日 北海道登別市議会・観光経済委員会
(第2期中心市街地活性化基本計画)
- 11月 1日 愛知県設楽町議会
(ペーパーレス議会及びリニア駅周辺のまちづくり)
- 11月 19日 神奈川県議会 (小水力発電)
- 11月 21日 京都府南丹市議会・新庁舎建設特別委員会
(庁舎整備、耐震整備工事)

汚泥処理センター (アクアクリーン中津川) が 完成しました



当市の念願でありました汚泥処理センター(新衛生センター)が福岡地内に完成しました。

12月15日午前10時より市長をはじめ多くの関係者が集い完成式が執り行われ、神事、テープカットで幕を開け、その後内覧会も行われました。

議員連絡協議会	議会改革特別委員会	病院・医療等対策特別委員会	リニア中央新幹線対策特別委員会	議会運営委員会	予算決算委員会	産業建設委員会	文教民生委員会	総務企画委員会	本会議
(協議会含む)									
(1回)	(3回)	(0回)	(1回)	(5回)	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	(4回)

議会開催状況 10月4日～12月23日

3月27日(金) 10時	3月23日(月) 10時	3月19日(木) 10時	3月18日(水) 10時	3月17日(火) 10時	3月16日(月) 10時	3月13日(金) 10時	3月12日(木) 10時	3月10日(火) 10時	3月9日(月) 10時	2月27日(木) 10時
本会議(最終日)	予算決算委員会	予算決算委員会	予算決算委員会	産業建設委員会	文教民生委員会	総務企画委員会	一般質問	一般質問	本会議(初日)	

令和2年3月定例会の日程



▼定例会には当市の産品等を議場に飾って開催しています。今回の定例会においては、昨年同様のシクラメンでした。

▼市議会だより「なかつがわ」No.23号2P～5Pに、今年度開催しました「市民と議会の対話集会」の関連記事を掲載させていただきました。ご参加いただいた皆様より沢山のご意見、ご要望等をいただきました。一つ一つ真摯に受け止めていきたいと思います。今後の議会運営や議員活動に反映させていく所存です。

ご参加いただいたことに感謝を申し上げます。

編集後記